

ウイルス等感染症対策技術開発事業 3次公募

－ 早期・大量の感染症検査の実現に向けた実証研究支援 －



事業の内容

事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎつつ、ビジネス渡航など、縮小した社会経済活動を回復させるためには、具体的な症状のない者が自らの感染状況を認識した上で行動することが重要です。
- 一方、季節性インフルエンザの流行期には発熱等の症状を訴える者が大幅に増え、検査需要の急増が見込まれるところ、無症状者向けの検査を拡大する上では、全体としての検査需要に影響が出ないような形で行われる必要があります。
- こうした状況を踏まえ、社会経済活動の中で本人等が希望する検査ニーズに対応できる環境を整えるとともに、検査数の増加に対応して早期・大量の検査を実現するため、プール検査手法の確立や、全自動・非接触型の新たな検査システムを確立するための実証を支援します。

成果目標

- 新型コロナウイルス等の感染症対策のために、早期・大量の感染症検査を実現するための手法・システムの確立を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

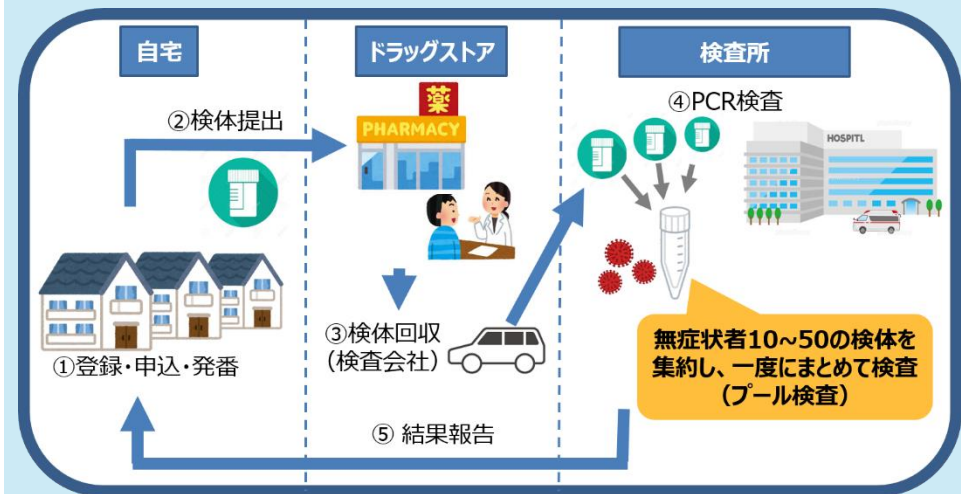


事業イメージ

対象事業の例

- 新型コロナウイルス感染症の早期・大量の検査を実現するため、プール検査手法の確立や、全自動、非接触で検査を実施することを可能とするシステムの実証を行う。

<プール検査手法のイメージ>



<全自動・非接触型で用いるロボットのイメージ>

